

事業実施の目的 広大な地域に179市町村が点在する本道においては、幼児教育と小学校教育の連携・接続に関する取組等に濃淡があることから、モデル的な取組を通して、全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことができるよう本事業を実施し本道の教育の質的向上を図る。

事業内容・成果 (R4年度)

1. 主な取組内容について

【架け橋期のカリキュラム開発会議】

- ・開発会議のメンバー：町教育委員会、町民生活課、保健福祉課、小学校、幼稚園、保育所、総括アドバイザー、近隣町診療所
- ・開催回数：4回（幼小接続円滑化推進会議：2回、カリキュラム検討会議：1回、ワーキンググループ会議：1回）
- ・会議内容：架け橋期のカリキュラム開発に係る自治体、幼児教育施設、小学校及び関係機関の連携体制の構築 研究開発の概要や今後の取組等の共有、架け橋期のカリキュラムの素案作成 等

【架け橋期のカリキュラム】

- ・各小学校のスタートカリキュラムの現状と課題を整理
- ・幼児教育施設と小学校が共同で、生活科の年間指導計画及び学校行事の見直し
- ・手引きに示された項目に、「幼児期に終わりまでに育ってほしい姿」と小学校「生活科」の単元名を加え、幼小のカリキュラムの繋がりを明確化した素案を作成

【園・小学校における体制】

- ・幼児教育施設と小学校に「接続担当係」を設置 ・接続担当係をワーキンググループ会議の構成員に位置付け
- ・会議開催回数：2回（ワーキンググループ会議：1回、幼小合同研修会：1回）
- ・小学校教諭による幼児教育施設への訪問及び教育課程等の情報共有 等

【自治体における体制】

- ・架け橋期のカリキュラム及びえりも型子育てプログラム（仮）の開発に係る関係機関の連携体制の構築
- ・コーディネーター的役割を担う町教育委員会職員が、園・小学校間、幼保小と関係機関や関係団体との連携を調整

2. 主な成果について

- ・幼児教育施設と小学校の交流・連携の機会が増えたことにより、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や実際の子どもの姿を基に幼児教育施設と小学校が教育課程等について検討することができた。

事業実施地域・協力園校 (R4年度)

【実施地域】

- えりも町

【協力園校】

幼：私立幼稚園 1 園、町立保育所 3 園

小：公立小学校 4 校

今後の目標 (R5年度)

- ・幼小の接続に係る課題の共有
- ・架け橋期のカリキュラムの実施・検証・改善
- ・「えりも町子育てプログラム」及び「えりも町子育て引継ぎシート」等の素案作成及び実施・検証に係る連携体制の構築

